

日野川の源流と流域を守る会

会報

しのがわ

第36号



【日野川フォトコンテスト2019作品】
題名:オオサンショウウオはどこだ
撮影者:橋谷俊二氏

＝ 目 次 ＝

- 令和2年総会 2
- 日野川フォトコンテスト2019表彰式
受賞作品の紹介 3
- 日野川源流探訪 4
- 大山古道を歩く 5
- 日野川散歩 6
- 幹事の部屋 7
- 今後の活動予定、会員募集 8

令和2年総会・講演会が開催されました

令和2年2月14日(金) 場所：米子市文化ホール イベントホール

令和2年日野川の源流と流域を守る会の総会・講演会を開催し、約110名の参加がありました。議事では、事務局から平成31年事業報告、令和2年事業計画案、役員改正案の提案があり、原案のとおり承認されました。

松村会長は挨拶で「日野川は大山と並ぶ鳥取県西部のシンボル。流域の自然・歴史・文化・食をアピールしたい。会員を増やして活動をパワーアップしたい」と意気込みを述べられました。



松村会長挨拶



令和2年 活動の基本方針

- 森、川、海を守る活動、歴史や文化、自然を学ぶ活動、普及啓発活動、その他本会の目的を達成するために必要な活動をバランス良く実施する。
- 日野川の将来を担う子ども達の積極的な育成を図る。
- 日野川流域の素晴らしさを積極的に伝え、活動でもメッセージを伝えていく。
- 関係機関と連携を深め、より良い活動を行う。

平成31年収支決算

1 収入の部

(単位：円)

区分	決算額	備考
繰越金	202,153	平成30年より
会費	741,000	
補助金	712,907	H31鳥取県森林環境保全税関連事業費補助金
その他	8,003	鳥取県社会福祉協議会助成金、預金利息等
計	1,664,063	

2 支出の部

(単位：円)

区分	決算額	備考
会議費	79,845	総会、幹事会
事業費	897,083	
助成金	402,340	3団体に助成
広報費	165,872	会報34・35号
事務費	98,572	郵券料、封筒作成ほか
予備費	0	
計	1,643,712	

※残額20,351円は、次年度に繰越

令和2年収支予算

今年度も、総会・講演会や森・川・海を守る活動、歴史・文化・自然を学ぶ活動、上流域と下流域の交流推進活動、日野川流域憲章記念事業などの活動を行います。

1 収入の部

(単位：円)

区分	前年予算額	本年予算額	増(▲)減	備考
繰越金	202,153	20,351	▲181,802	平成31年より
会費	700,000	700,000	0	
補助金	800,000	800,000	0	とっとり県民参加に森づくり推進事業
その他	100	100	0	預金利息等
計	1,702,253	1,520,451	▲181,802	

2 支出の部

(単位：円)

区分	前年予算額	本年予算額	増(▲)減	備考
会議費	120,000	80,000	▲40,000	総会、幹事会
事業費	860,000	640,000	▲220,000	イベント開催に要する経費
工事費	0	500,000	500,000	源流の碑周辺整備事業
助成金	400,000	0	▲400,000	森と水に親しむ活動支援事業を中止
広報費	190,000	170,000	▲20,000	会報ひのがわ36号、37号
事務費	110,000	100,000	▲10,000	郵券料、封筒作成、用紙代ほか
予備費	22,253	30,451	8,198	
計	1,702,253	1,520,451	▲181,802	

講演会『農業と観光、そしてインバウンドへの取り組み』

総会に続き、日野川流域の恵みを活かして、流域で農業経営及び事業展開されている石田康雄氏から日野川流域の交流や地域振興を図るため、日南町の交流人口拡大に農業で寄与できるように観光農園「ステラベリーパーク日南」を開園したこと、イチゴを安定的に栽培し国内外の観光客に農業体験を楽しんでいただくため、米子市におけるイチゴ観光農園の事業化を実現する活動をしていることなどのお話がありました。参加者は、講師の話に熱心に耳を傾けていました。講演後の質疑では「農作物の栽培について」、「日野川への想いについて」の質問があるなど盛況のうちに終わりました。



講師 石田 康雄氏
(株式会社石田コーポレーション代表取締役社長)

日野川フォトコンテスト グランプリ 2019受賞者表彰式

「日野川流域の恵みと魅力を次世代に引き継ごう」をテーマに日野川フォトコンテストを開催しました。

日野川の魅力あふれる作品35点の応募があり、厳正な審査の結果グランプリ1点、金賞3点、銀賞5点が選ばれ、受賞者に日野川流域の特産品が授与されました。



「大山さんと日野川さん」 小島憲二

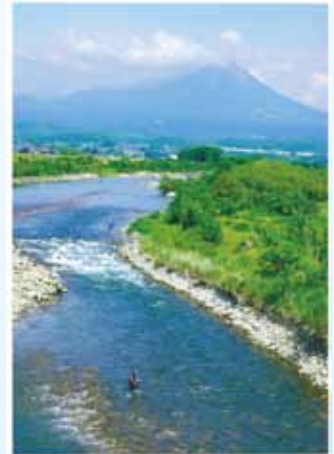
金賞



「日野川の春」 渡辺敏美



「朝の輝き」 佐伯範夫



「鮎解禁」 真砂昇平

銀賞



「スプラッシュ」 中村真生子



「ひびけトランペット」 内藤正次郎



「山里の春は、萌黄色」 池田兆一



「勢揃い」 村川節秀



「日野川に架かる橋の邪気払いをする鬼達」 和田 稔

活動
レポート

日野川源流探訪

R1.11.2 場所:日南町新屋



アケボノソウ



いつまでも残したい美しい日野川の源流を訪ねて

本会のメインイベントである「日野川源流探訪」を開催しました。台風19号の影響のため、10月に予定していたイベントを11月2日に延期して実施。今回は日南町林業指導員の坪倉敏さんの解説を受けながら、「源流の碑」を訪ねました。

道中は幾多の難所を経由しながら自然に触れ、全員が目的地の「源流の碑」まで無事に到着。参加者の皆様から楽しかったとの声があり、充実した活動となりました。



▲森林について解説する坪倉講師



▲最大の難所の橋を渡っています



▲源流を目指して登ります



▲「源流の碑」の前で記念撮影

- ついつい飲んでみたくなるような澄んだ水が流れており、水の有難さ、味がわかりました。
- 一般的に行けない場所、単独では行けない場所に行くことが出来て良かったです。
- 山野草の説明、笹でのかご作り。楽しく過ごすことが出来ました。
- 川の中を歩くこともあり、源流探訪には長靴着用が必須だということがわかりました。
- 源流探訪は秋だけでなく、四季折々の自然を楽しみたいと思いました。

参加者の
声

活動
レポート

大山古道を歩く

R1.11.10 場所:日野郡江府町御机〜下蚊屋

奥大山古道ウォーク2019を
奥大山古道保存協議会共催で実施しました。奥大山古道保存協議会
佐々木満会長 挨拶

令和元年11月10日、秋晴れの素晴らしい天候に恵まれるなか、県内外から106名の参加を頂き奥大山の古道ウォーキングを開催しました。

色鮮やかな紅葉のなか、参加者は古道に降り積もった落ち葉のじゅうたんを歩きながらガイドさんが語る奥大山古道の歴史や、草木についての説明に興味深く耳を傾けていました。



お昼には御机集落の方が用意して下さった、後醍醐天皇にお出ししたとの伝説がある団子汁と株式会社サントリーと一緒に作った新そばで打った「御机そば」のおもてなしをして頂きました。また、御机集落で栽培された新鮮な秋野菜の販売もあり、皆さんがたくさん購入されました。心とお腹の憩いのひと時を過ごしました。



お昼からは笠良原まで古道を歩き、旧下蚊屋分校に場所を移して、県指定文化財の下蚊屋荒神楽を鑑賞しました。大蛇が火を噴き煙が一面に立ち込めるなど迫力の神楽に参加者は圧倒され、大満足で奥大山古道の旅を終えました。



日野川散歩

都合山たたら遺跡



都合山の滝さんぽ

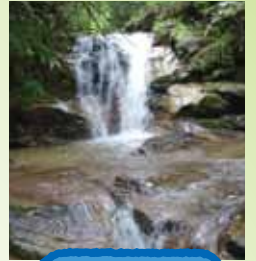
奥日野のたたら文化歴史遺産「都合山たたら遺跡（日野町上菅）」から日野川に下る都合山川には5つの滝があります。

都合山たたら遺跡から上菅集落に至るたたら街道を歩くとそれぞれ個性のある魅力的な滝を見ることが出来ます。都合山たたら遺跡と併せて散策するとマイナスイオン効果もあり心と体の癒しになります。



都合滝

ししヶ滝



童洞ヶ滝



小滝



正滝

都合山三

黒坂

日野川

至上菅

寝覚峡の散策

寝覚峡（日野町下黒坂）

川幅も狭く奇勝景観を展開し、寝覚峡と呼ばれています。

このあたりの川岸一帯にはキシツツジが群生しており、春には一面に淡紅色の花が咲いて見事です。県内では日野川中上流域のみに自生しています。

変化に富んだ景勝地では、ラフティング等の水上スポーツも盛んに行われています。

岩の上に座って、川の流れて見ているだけでも、水音を聞いているだけでも癒されます。

お近くを通られたら、ぜひとも立ち寄ってみられませんか？



キシツツジ



キシツツジが咲いています



岩から水面に飛び込んだり、ボートを漕いだり、見ているだけでも楽しそう。やっている人の興奮はいかなるものか？

このページは会員の皆様からの投稿をお待ちしています！！

※このページは広報紙の新規企画です。

日野川流域のおすすめの撮影場所、お気に入りの場所など自由に投稿してください。

投稿を希望される方は、日野川の源流と流域を守る会事務局（電話0859-72-2080）まで連絡ください。

幹事の部屋

日野川の源流と流域を守る会の幹事を紹介します。



「幹事に就任して」

この会の存在は発足当初から気になっておりましたが、これまではその活発な活動を敬意と羨望をもって傍観するのみでした。ところが昨年、ご縁をいただき幹事を拝命することになりまして、身の引き締まる思いであります。

根雨に生まれ育ったものですから、子どもの頃、日野川には大いに親しみました。釣り少年だったこともあり、川辺は大好きな遊び場の一つでした。夢中になり過ぎて、服を濡らして帰宅したことも数え切れません。

近年は、冬に自宅からほど近い観察小屋から美しいオシドリを見ることが、身近な日野川の楽しみになっています。

伯耆国たたら顕彰会や鳥取県経済同友会のお手伝いもしておりますので、この会との連携を図りつつ、日野川を守り、活かしていくための活動に、微力ながら貢献できればと思っております。



幹事 細田 耕治



「みなさんと楽しみたい野鳥観察」

冬になると、山やスキーに“のぼせる”私ですが、この冬は雪が降らない、積もらない、何とも言い難い毎日でした。歴史に残る記録的な暖冬は、大変衝撃的な出来事でした。そしてまだ冬の後始末ができていない状況下で、新型コロナウイルスによるパンデミックが勃発し本会の計画も中止が続きます。

暖冬が生き物に大きな影響を与えるのか興味のあるところですが、開花時期などから植物の生長が多少早くなったことは実感できました。根雨に集結するオシドリは、厳冬期がなかったため例年より分散傾向気味でした。

1月から5月まで、コウノトリが伯耆町で確認されました。特に旧溝口町の日野川や支流の野上川流域で、継続して確認されたことは初めての事です。3月から4月には、例年見られないイカルやシメの大群が見られました。

日野川沿いの山の上では、ノスリ・ハイタカ・トビ等はもちろん、南から渡ってきたハチクマやサシバも飛び回り猛禽類もにぎやかです。田植え後の水田には、増加傾向のサギ類が入っています。例年、春から数を増やすカワウは、下流域で河川改修工事が続き、どこかに移動しているようです。

近年減少傾向のスズメは、場所によってはカワラヒワの集団に圧倒されている状況です。ツバメ類では、例年営巣する橋の裏にイワツバメがまったく姿をあらわさない所もあり、コシアカツバメも営巣数が少なくなりました。

はやく新型コロナウイルス感染拡大の波が収まり、会員の皆さんと日野川流域を巡ることができるとを願っています。



幹事長 達磨 晋

日野川の源流と流域を守る会

令和2年 これからのイベント・行事

時期	イベント名	内容	開催場所
7月下旬	水源涵養林での森林整備と自然観察	日南町の森林で間伐などの森林整備作業を体験した後、自然観察会を開催します。	日南町
7月中旬、8月	日野川の自然環境と希少生物を守る体験活動	専門家によるオオサンショウウオ生態調査を見学し、河川生物の観察を行います。※日野郡内の児童対象	日野町
9月	日野川環境保護とはんざけ観察会	専門家の解説を受けながら日野川流域の森林を散策し、日野川の河川清掃やオオサンショウウオ等の観察を行います。	日南町
10月中旬	日野川源流探訪	自然解説を受けながら、この度改修した日野川源流の碑を目指します。	日南町
11月	日野川の風景・魅力再発見ツアー	専門家の解説を受けながら、魅力的な日野川流域の森林や水辺の写真撮影、散策を行います。	日野町 江府町
11月8日	奥大山古道ウオーク	自然・歴史解説を受けながら、大山古道を散策し、荒神神楽を鑑賞します。	江府町鏡ヶ成 ほか

※イベント開催日、内容は、変更される場合があります。

【R2.6.18現在】

※イベントの詳細内容や参加申込み方法は、募集の際（概ね1ヶ月前）に案内します。

日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに
支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しましょう!

お申込み方法や会費などのお問い合わせなどについて、お気軽に下記事務局までご相談ください。Eメールやファクシミリは、いつでも受け付けております。なお、電話によるご相談は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで受け付けております。

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。

日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えてくれています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。

私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。

そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章(理念)】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切に、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日
日野川流域憲章制定実行委員会